
令和2年度第2回 日進市地域公共交通会議 資料

【報告事項】

- (1) 運行実績について…P 1

【議題】

- (1) 令和元年度歳入歳出決算について……………P 5
- (2) 令和2年度歳入歳出予算について……………P 6
- (3) 令和3年度生活交通確保維持改善計画について……………P 7
- (4) 日進市地域公共交通会議 専門部会の設置について……………別紙

令和2年7月17日

報告事項(1) 運行実績について

赤池線(旧南コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	2,526	5,326	6,543	-2,800	47%	-4,017	39%
5	2,563	5,495	6,162	-2,932	47%	-3,599	42%
6	3,901	5,306	6,934	-1,405	74%	-3,033	56%
計	8,990	16,127	19,639	-7,137	55.7%	-10,649	45.8%

梅森線(旧西コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	2,068	3,707	5,069	-1,639	56%	-3,001	41%
5	1,945	3,755	5,016	-1,810	52%	-3,071	39%
6	2,719	3,715	5,156	-996	73%	-2,437	53%
計	6,732	11,177	15,241	-4,445	60.2%	-8,509	44.2%

名鉄バス 日進中央線(旧くるりんばす 中央線)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	4,833	10,741	7,292	-5,908	45%	-2,459	66%
5	3,923	10,482	6,310	-6,559	37%	-2,387	62%
6	7,272	10,722	6,709	-3,450	68%	563	108%
計	16,028	31,945	20,311	-15,917	50.2%	-4,283	78.9%

くるりんばす合計(旧くるりんばす7コース合計)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	13,484	27,223	34,859	-13,739	50%	-21,375	39%
5	13,283	27,003	34,092	-13,720	49%	-20,809	39%
6	20,411	27,126	36,114	-6,715	75%	-15,703	57%
計	47,178	81,352	105,065	-34,174	58.0%	-57,887	44.9%

米野木線(旧東南コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	1,187	2,302	4,917	-1,115	52%	-3,730	24%
5	1,120	2,316	4,901	-1,196	48%	-3,781	23%
6	1,630	2,340	5,117	-710	70%	-3,487	32%
計	3,937	6,958	14,935	-3,021	56.6%	-10,998	26.4%

五色園線(旧北コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	2,899	6,151	3,886	-3,252	47%	-987	75%
5	2,838	5,989	3,798	-3,151	47%	-960	75%
6	4,800	5,895	4,153	-1,095	81%	647	116%
計	10,537	18,035	11,837	-7,498	58.4%	-1,300	89.0%

循環線(旧南西コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	2,250	4,412	4,917	-2,162	51%	-2,667	46%
5	2,220	4,232	4,901	-2,012	52%	-2,681	45%
6	3,204	4,392	5,117	-1,188	73%	-1,913	63%
計	7,674	13,036	14,935	-5,362	58.9%	-7,261	51.4%

くるりんばす+名鉄バス日進中央線(旧くるりんばす8コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	18,317	37,964	42,151	-19,647	48%	-23,834	43%
5	17,206	37,485	40,402	-20,279	46%	-23,196	43%
6	27,683	37,848	42,823	-10,165	73%	-15,140	65%
計	63,206	113,297	125,376	-50,091	55.8%	-62,170	50.4%

三本木線(旧東コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	元年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	1,221	2,717	4,919	-1,496	45%	-3,698	25%
5	1,255	2,699	4,786	-1,444	46%	-3,531	26%
6	2,274	2,761	5,064	-487	82%	-2,790	45%
計	4,750	8,177	14,769	-3,427	58.1%	-10,019	32.2%

岩崎線(旧中コース)

月	利用者数			対令和元年度		対28年度	
	2年度	30年度	28年度	差(人)	比率(%)	差(人)	比率(%)
4	1,333	2,608	4,915	-1,275	51%	-3,582	27%
5	1,342	2,517	4,790	-1,175	53%	-3,448	28%
6	1,883	2,717	4,825	-834	69%	-2,942	39%
計	4,558	7,842	14,530	-3,284	58.1%	-9,972	31.4%

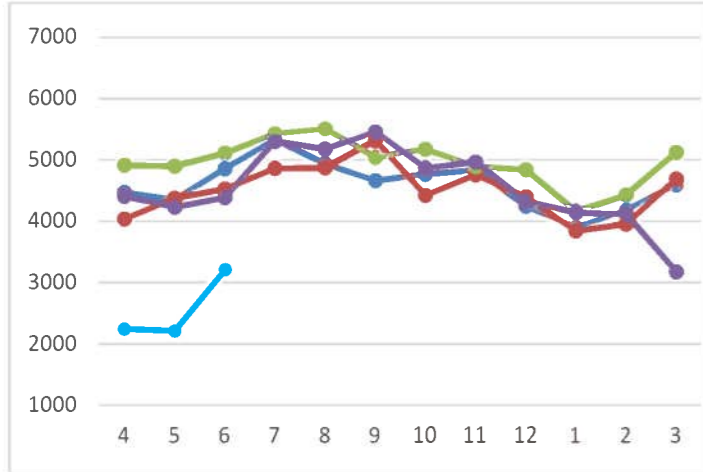
4月10日～5月26日にかけて、国や愛知県による緊急事態宣言が発令され、外出自粛要請がなされました。これを受け、不要不急の外出を控える人がさらに増加するとともに利用者数も減少し、くるりんばす7路線の利用者数は4月、5月二か月連続で前年同月で半分程となりました。名鉄バス日進中央線に関しては、5月には利用者数が前年同月比4割以下となるなど、ほとんどの大学が休校もしくはオンラインでの授業の実施をはじめたことや、企業によるテレワーク推進などにより利用者が減少したものと考えられます。外出自粛要請解除後も、沿線の大学が前期の通常授業を取りやめたことなどが影響し、6月の利用者も前年同月比68%となっております。

緊急事態宣言が解除された6月には利用者はくるりんばす7路線合計で前年同月比75%まで回復いたしました。新型コロナウイルス感染症の再流行や新しい生活様式の定着など、利用者変動の予測が難しいため、毎月の動向を注視してまいります。

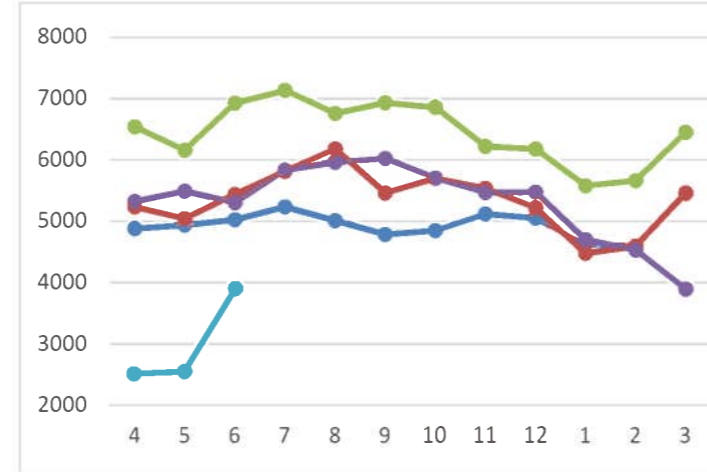
今後につきましても、運行事業者と連絡を取りあいながら、十分に対策をとりつつ運行を継続してまいります。

月毎利用者数

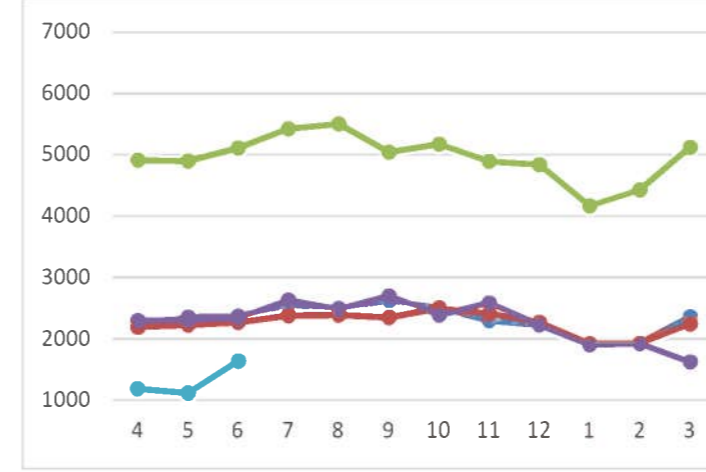
循環線



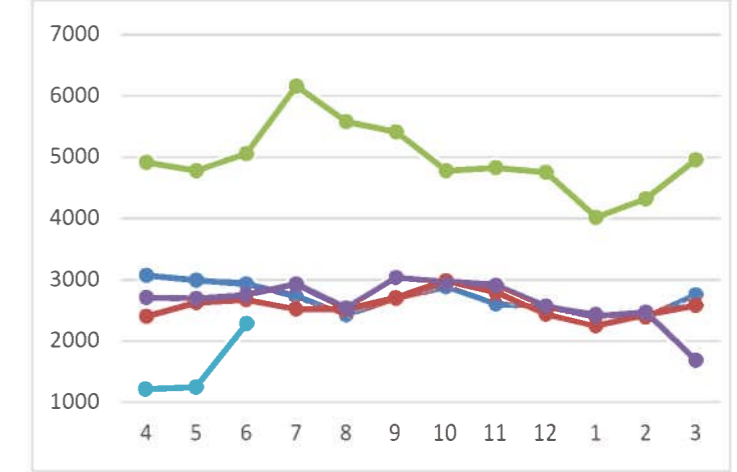
赤池線



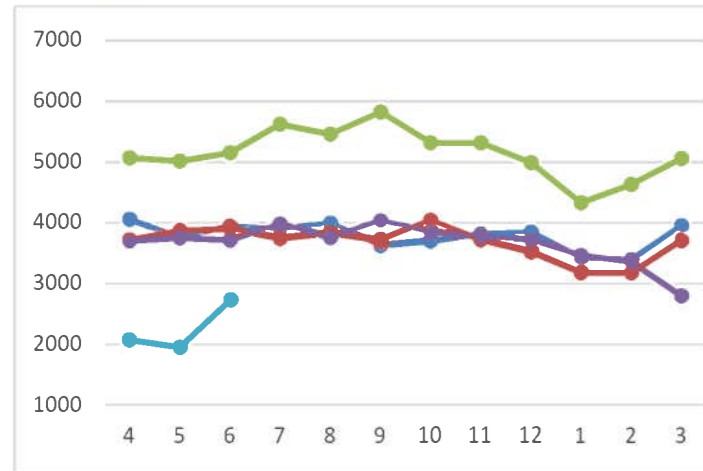
米野木線



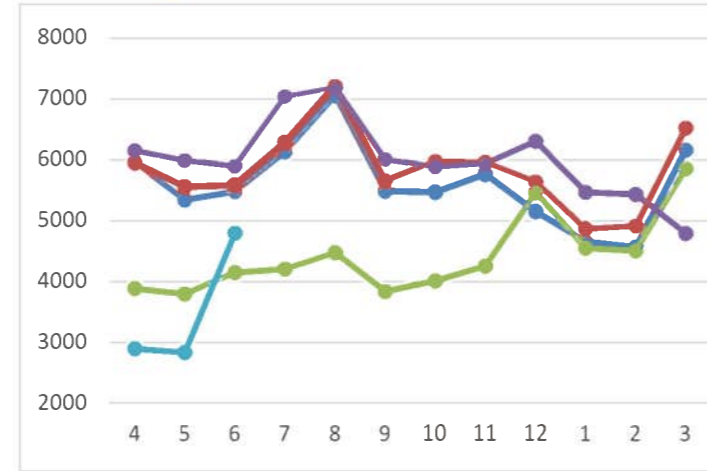
三本木線



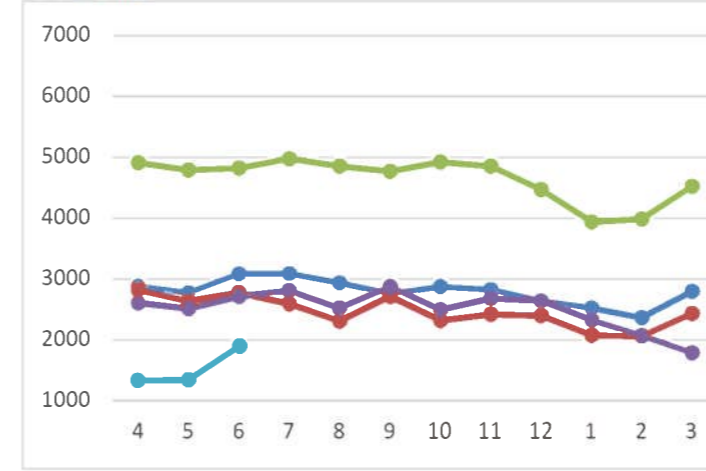
梅森線



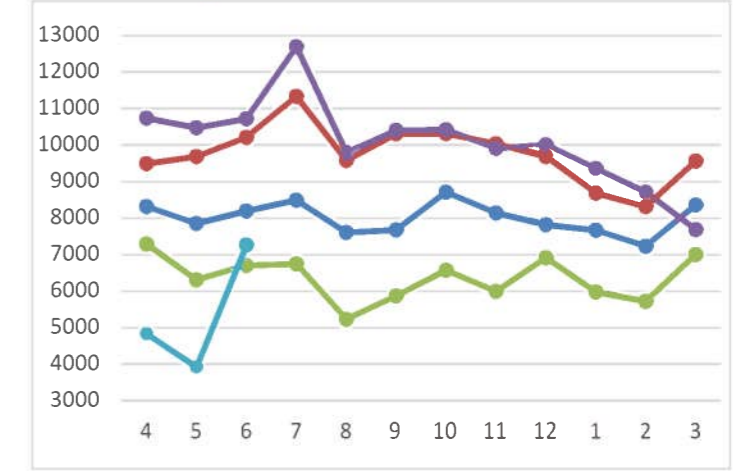
五色園線



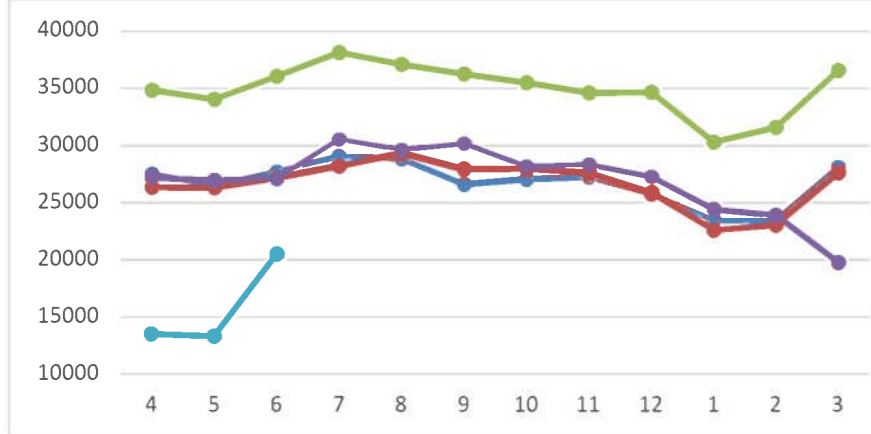
岩崎線



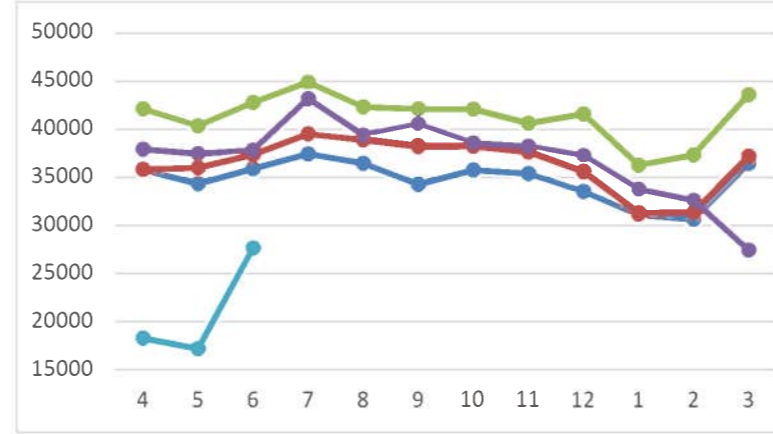
日進中央線



7コース



8コース



人/月

緑	H28年度
青	H29年度
赤	H30年度
紫	元年度 (H31年度)
水色	R2年度

■R2年度くるりんばす月別コース別料金収入(7コース)

(単位:円)

(収入)	赤池	米野木	三本木	梅森	五色園	岩崎	循環	計	各店舗計	合計	運行 日数
4月	120,700	43,900	62,100	115,800	118,200	46,400	64,200	571,300	413,700	985,000	30
5月	112,000	40,700	63,700	95,600	117,800	46,300	67,200	543,300	334,600	877,900	31
6月	206,300	72,600	127,600	156,600	207,800	61,000	109,500	941,400	495,200	1,436,600	30
7月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
11月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30
1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
2月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
計	439,000	157,200	253,400	368,000	443,800	153,700	240,900	2,056,000	1,243,500	3,299,500	362

※『各店舗計』は定期券、回数券の市内全店舗の売り上げ合計

<参考>令和元年度くるりんばす月別コース別料金収入(7コース)

(収入)	赤池	米野木	三本木	梅森	五色園	岩崎	循環	計	各店舗計	合計	運行 日数
4月	302,700	94,500	148,400	208,200	272,000	105,700	151,700	1,283,200	824,200	2,107,400	30
5月	317,600	77,400	147,700	215,000	268,400	99,900	151,400	1,277,400	570,800	1,848,200	31
6月	313,200	82,400	139,400	219,600	264,700	116,700	154,800	1,290,800	603,100	1,893,900	30
7月	(350,700)	(101,900)	(158,500)	(242,700)	(318,300)	(111,300)	(200,300)	(1,483,700)	(672,100)	(2,155,800)	31
8月	(344,600)	(90,700)	(162,600)	(229,100)	(315,600)	(91,500)	(180,200)	(1,414,300)	(560,400)	(1,974,700)	31
9月	(352,200)	(116,900)	(192,200)	(250,100)	(297,600)	(142,500)	(217,700)	(1,569,200)	(736,900)	(2,306,100)	31
10月	(315,000)	(81,500)	(163,600)	(210,800)	(260,200)	(96,900)	(182,500)	(1,310,500)	(657,400)	(1,967,900)	30
11月	(290,400)	(99,400)	(137,400)	(200,500)	(268,000)	(94,700)	(172,500)	(1,262,900)	(535,900)	(1,798,800)	30
12月	(290,100)	(82,600)	(130,800)	(196,500)	(261,000)	(98,900)	(142,000)	(1,201,900)	(533,200)	(1,735,100)	30
1月	(254,300)	(69,000)	(120,300)	(176,100)	(234,600)	(82,600)	(137,200)	(1,074,100)	(618,300)	(1,692,400)	28
2月	(240,200)	(63,800)	(105,700)	(183,700)	(206,600)	(77,500)	(142,900)	(1,020,400)	(458,600)	(1,479,000)	28
3月	(200,300)	(56,000)	(77,200)	(154,300)	(207,300)	(65,000)	(99,900)	(860,000)	(988,500)	(1,848,500)	31
計	933,500	254,300	435,500	642,800	805,100	322,300	457,900	3,851,400	1,998,100	5,849,500	363

R2-R1
差額 -2,550,000

対前年度比 : 56.4%

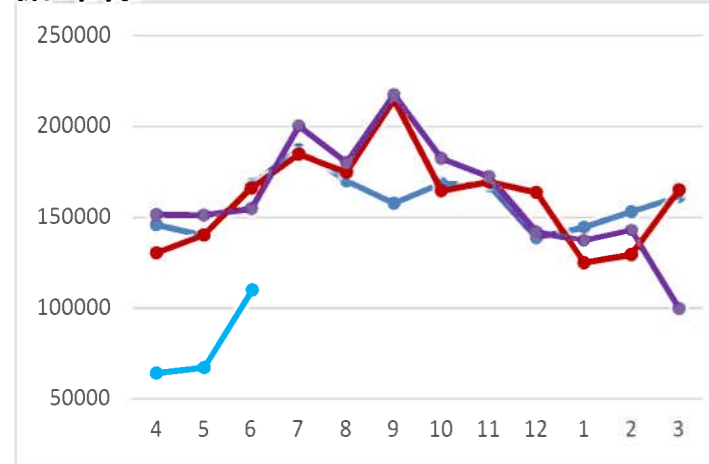
車内収入の推移

くるりんばすの料金収入は、前年同期比で2,550,000円の減少となり、収入減となりました。定期券収入の多い4月に緊急事態宣言が発令されたことによる定期券の買い控えが発生したことや、外出自粛要請を原因とする利用者の減少などによるものです。6月の収入に関しては、前年同月比で75%程度まで回復しておりまして、高校などの学校や経済活動の再開により、4月・5月に比べて利用者数の増加や定期券・回数券の販売枚数の増加したことによるものと考えられます。

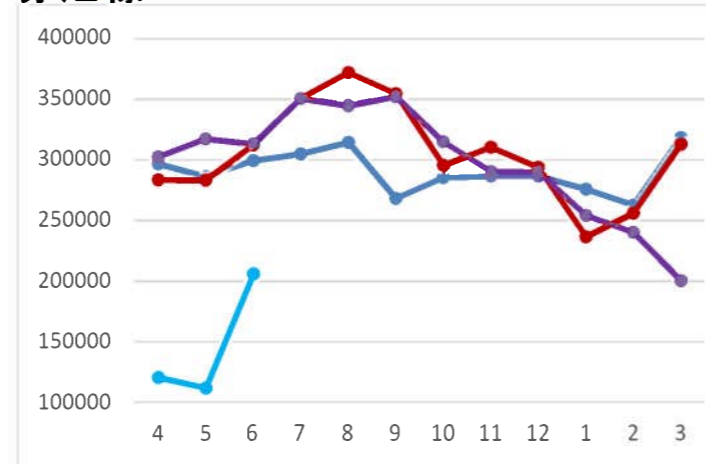
今後につきまして、新しい生活様式の定着がどの程度くるりんばすの利用状況や収入に影響を及ぼすか、利用者推移とともに見定める必要があります。

くるりんばす月毎運行収入

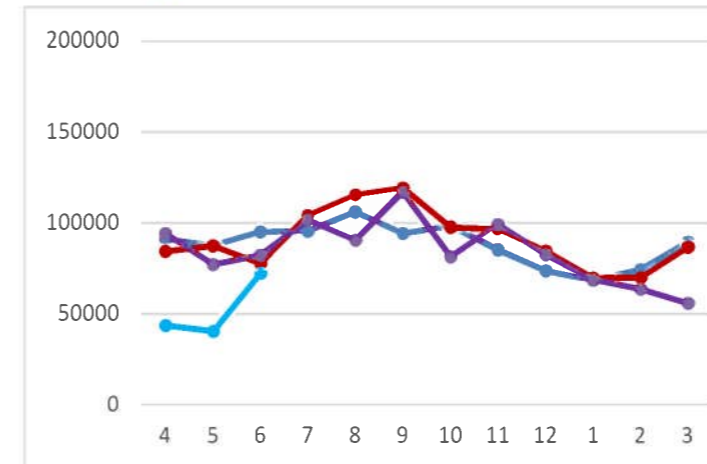
循環線



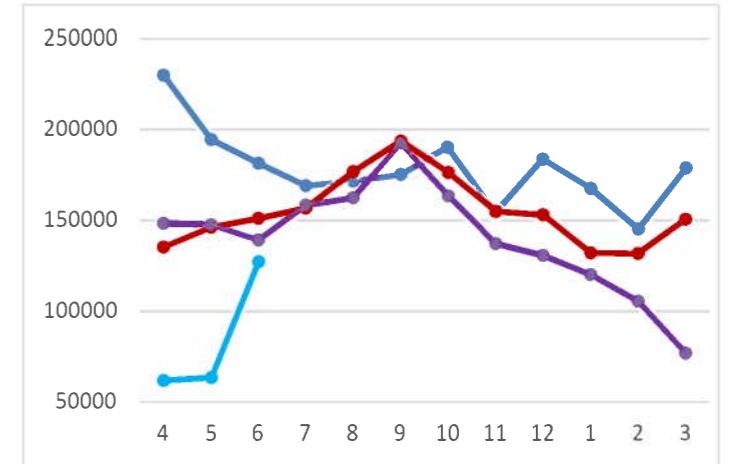
赤池線



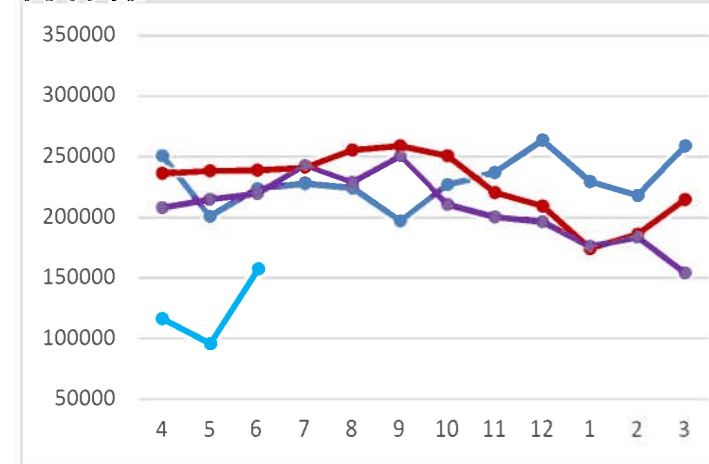
米野木線



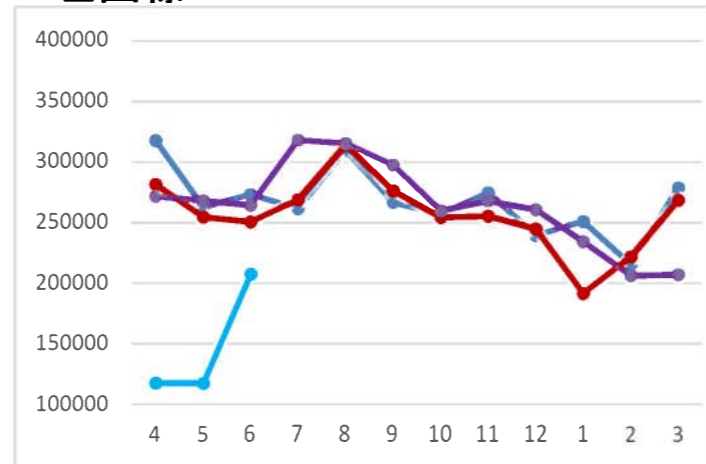
三本木線



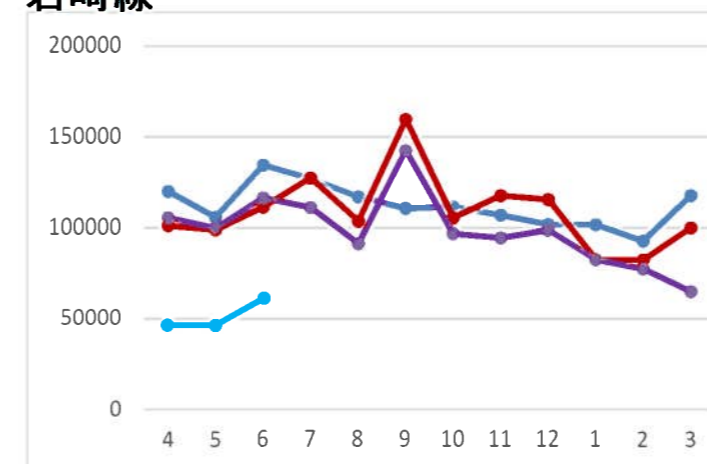
梅森線



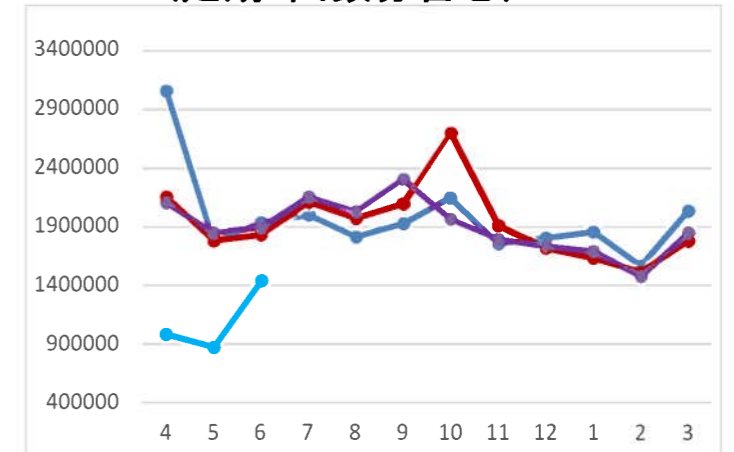
五色園線



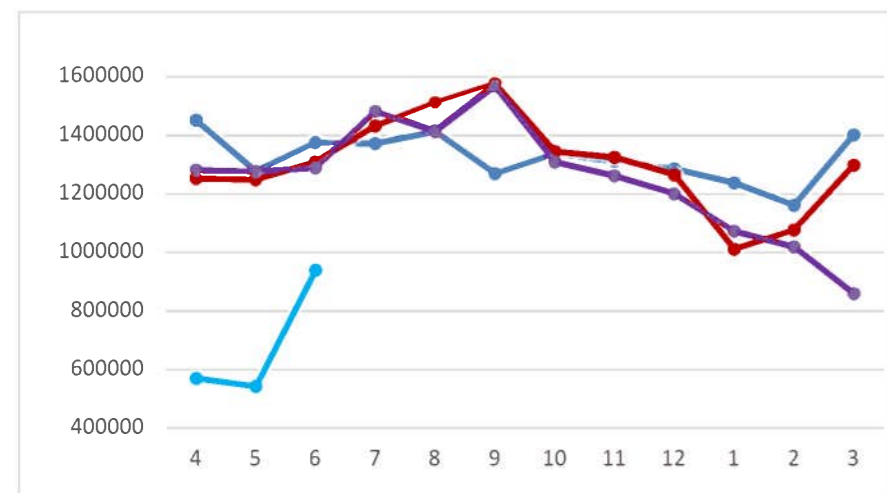
岩崎線



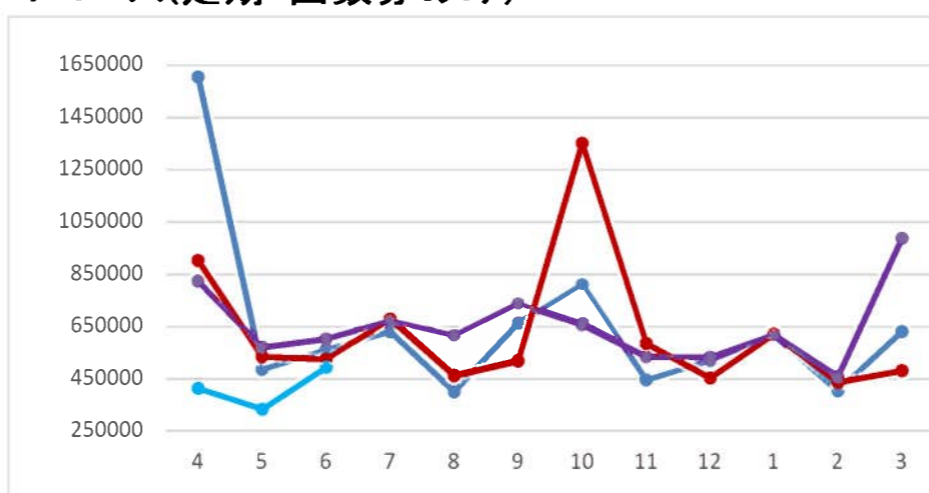
7コース(定期・回数券含む)



7コース(運賃のみ)



7コース(定期・回数券のみ)



円/月

青	29年度
赤	30年度
紫	元年度 (H31年度)
水色	R2年度

議題（１）令和元年度歳入歳出決算について

令和元年度日進市地域公共交通会議 事業報告

1 くるりんばす利用促進事業

くるりんばす誕生の歴史とその後の発展について分かりやすく説明すると共に、気軽に工作を楽しみながらくるりんばすへの愛着を高めて頂くことを目的に、下記のとおりペーパークラフト6,000部（中型車両タイプ3,000部、小型車両タイプ3,000部）を作成しました。

制作依頼先 : 株式会社文方社
 作成料（印刷代含む） : 231,000円（税込） 振込手数料770円

※名古屋学芸大学との共同事業として進めておりましたバスカード制作につきましては、年度内の作成が難しい状況が生じたので、納期を延長することとなりました。

2 協議会等の開催

日進市地域公共交通会議を全3回開催しました。 ※（ ）内は主な議題

第1回会議 令和元年6月6日
 （生活交通確保維持計画について）

第2回会議 令和元年11月6日
 （利用促進事業の実施、災害時対応の報告について）

第3回会議 令和2年1月21日
 （令和元年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価）

令和元年度日進市地域公共交通会議の歳入歳出決算につきましては、令和2年6月23日に監査委員により監査をいただきました。監査報告については、右に示す通りです。

令和元年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出決算

令和2年6月23日

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第1表 歳入歳出決算

歳入

(単位：円)

款	項	予算額	決算額	増減額	説明
1	負担金 1 負担金	1,213,000	1,212,960	△40	日進市負担金
2	補助金 1 国庫補助金	0	0	0	
3	繰越金 1 繰越金	0	0	0	
4	諸収入 1 諸収入	1,000	0	△1,000	その他収入無し
合計		1,214,000	1,212,960	△1,040	

歳出

(単位：円)

款	項	当初予算額	決算額	予算との差	説明
1	事務費 1 会議費	712,000	239,350	△472,650	報償費、食料費、印紙、振込手数料
2	事業費 1 事業費	500,000	231,770	△268,230	利用促進事業費（ペーパークラフト制作）
	2 精算金	1,000	741,840	740,840	市への精算金
3	予備費 1 予備費	1,000	0	△1,000	支出なし
合計		1,214,000	1,212,960	△1,040	


歳入（1,212,960円）－ 歳出（1,212,960円）＝ 繰越額（0円）

収入・支出に関する帳簿及び関係書類を審査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されていることを認めます。

監査委員

小倉山 享 

監査委員

川口 洋子 

議題（２） 令和２年度歳入歳出予算について

令和２年度日進市地域公共交通会議 歳入歳出予算書（案）

令和２年度日進市地域公共交通会議の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第１条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 1,215 千円と定める。

- 2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第１表 歳入歳出予算」による。
- 3 歳出予算の各科目の予算額に過不足が生じた場合、相互に流用できるものとする。

令和２年 7 月 17 日 提出

日進市地域公共交通会議 会長 松本 幸正

第１表 歳入歳出予算

歳入 (単位：千円)

款	項	当初予算額	摘要
1 負担金	1 負担金	1,214	日進市負担金
2 補助金	1 国庫補助金	0	
3 繰越金	1 繰越金	0	
4 諸収入	1 諸収入	1	
合計		1,215	

歳出 (単位：千円)

款	項	当初予算額	摘要
1 事務費	1 会議費	713	報償費、食料費 契約印紙代、振込手数料
2 事業費	1 事業費	500	利用推進事業等
	2 精算金	1	精算金
3 予備費	1 予備費	1	
合計		1,215	

【令和２年度の事業費について】

今年度の事業費は500千円につきましては、利用促進資材の作成など、資金用途について熟慮した上で、今後お示しする予定です。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策に伴い、利用促進事業を縮小する可能性もございます。

議題（3） 令和3年度生活交通確保維持改善計画について

地域間幹線系統と地域内フィーダー系統とは

■地域間幹線系統

複数の市町村にまたがって走る広域的な路線バスは「地域間幹線系統」と呼ばれており、市民の通学や通院を支える上で重要な役割を果たしています。

また、地域間幹線系統は交通ネットワークの「背骨」にも例えられるように、交通ネットワークを維持していく上で最も重要な路線となっています。

日進市においては、名古屋市と接続する「くるりんばす梅森線」、長久手市と接続する「くるりんばす五色園線」、「名鉄バス日進中央線」の3系統が地域間幹線系統に位置付けられています。

地域間幹線系統は複数の市町村にまたがる路線であるため、路線の役割や目標設定等については各県の地域間幹線系統確保維持計画の中で計画されます。

なお、日進市では愛知県が策定する地域間幹線系統確保維持計画に基づき、下記補助金の申請を行います。

- ① 地域公共交通確保維持改善事業費補助「地域間幹線系統補助」（国土交通省）
補助対象：運行事業者（名鉄バス株式会社）
対象路線：くるりんばす「梅森線」「五色園線」、名鉄バス「日進中央線」の3路線
補助内容：運行経費の補助
- ② 地域公共交通確保維持改善事業費補助「車両購入に係る補助」（国土交通省）
補助対象：日進市（令和3年度は1台購入予定）
路線：くるりんばす「梅森線」（小型バス）
補助内容：車両購入費の1/2（補助対象経費上限額 1,500万円）
ただし、補助金額は国庫財源額等により変動する場合があります

■地域内フィーダー系統

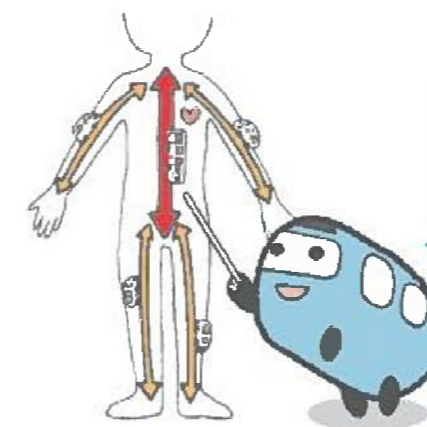
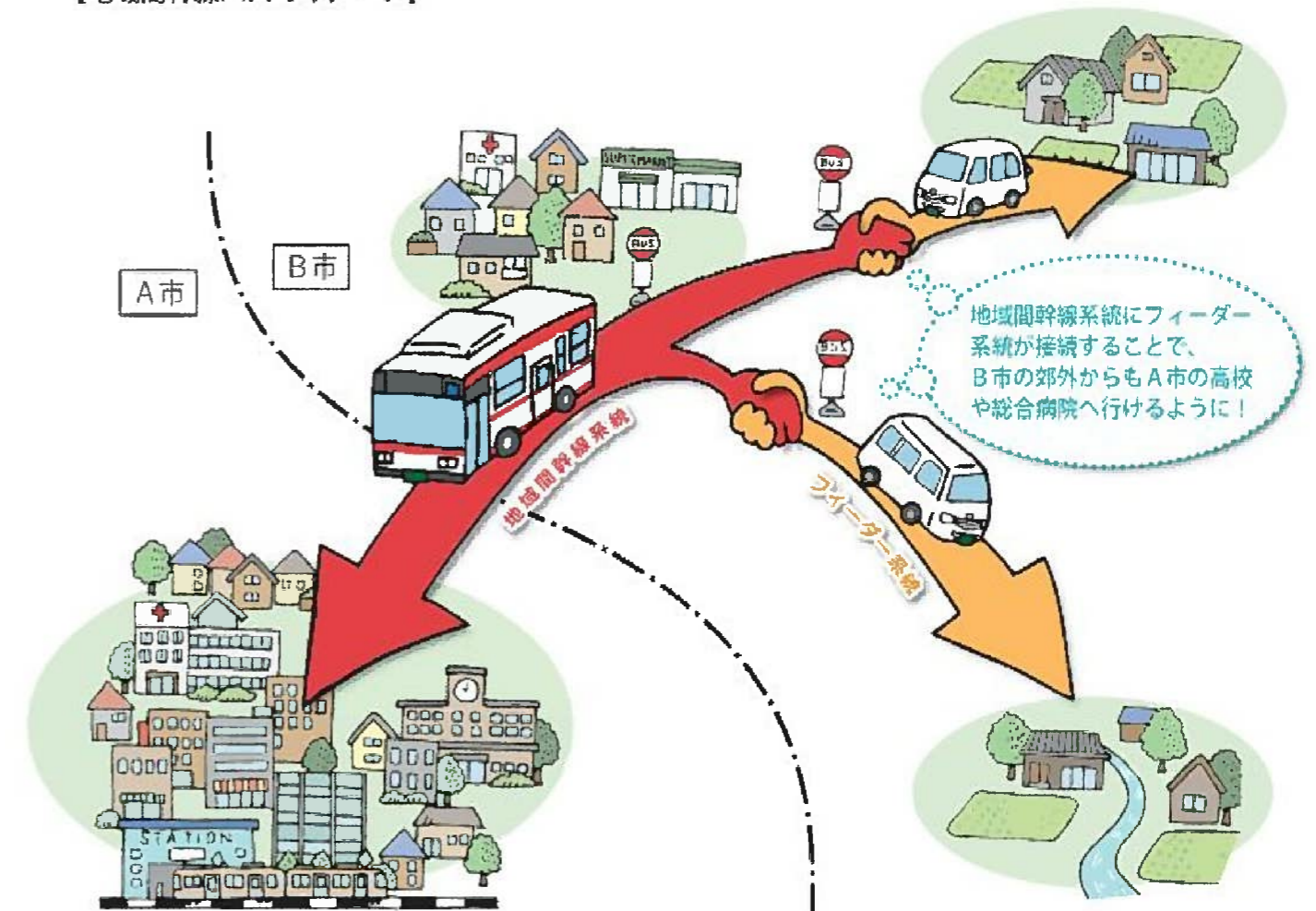
複数の市町村をまたがって走る路線が地域間幹線系統であるのに対し、自治体内を走行し、域内の移動を支える路線が「地域内フィーダー系統」です。

地域内フィーダー系統は地域間幹線系統を補完する路線として位置付けられており、地域内フィーダー系統として認められるためには、地域間幹線系統と接続している必要があります。

日進市においては、くるりんばす「赤池線」「米野木線」「三本木線」「岩崎線」「循環線」の計5路線が市役所や鉄道駅で地域間幹線系統と接続しており、地域内フィーダー系統として認定（再編特例による認定）を受けております。

※地域内フィーダー系統は自治体内を走行する路線であるため、路線の役割や目標設定については、路線を有する市町村において生活交通確保維持改善計画を策定します。（詳しくは次項で説明します。）

【地域間幹線バスのイメージ】



地域間幹線バスは、鉄道とともに地域公共交通ネットワークの「背骨」の役割を果たしているからネットワークの維持のためにも重要です！

生活交通確保維持改善計画の策定

地域公共交通確保維持改善事業費補助「地域内フィーダー系統補助」の申請を行うにあたっては、地域の実情に応じた生活交通ネットワークを確保、維持するための計画として「生活交通確保維持改善計画」を策定する必要があります。

なお、地域内フィーダー系統は地域間幹線系統と密接に結びついていることが要件の1つとなっておりますので、地域間幹線系統との関係性について十分に整理を行った上で計画を策定する必要があります。

以上を踏まえ、次項（案）の通り本市の生活交通確保維持改善計画を作成しましたので、日進市地域公共交通会議の議事に諮ります。

なお、本計画についてご承認を頂いた場合は、下記補助金の申請を行います。

【申請予定の補助金の概要】

補助金名：地域公共交通確保維持改善事業費補助「地域内フィーダー系統補助」（国土交通省）

補助対象：運行事業者（名鉄バス株式会社）

対象路線：くるりんばす「赤池線」「米野木線」「三本木線」「岩崎線」「循環線」の計5路線

補助内容：運行経費の補助

（案）

生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）

令和2年 月 日
（名称） 日進市地域公共交通会議
（代表者名） 松本 幸正 印

生活交通確保維持改善計画の名称

日進市地域内フィーダー系統確保維持改善計画

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

◆目的

日進市では、市域南部に名古屋市営地下鉄鶴舞線及び名古屋鉄道豊田線が運行しており、また、市域外北部には愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）が運行している。一方で、市中心部には鉄道は通っておらず、鉄道駅へのアクセスなど市街地における交通の確保は、市民生活を支える上で必要不可欠である。

日進市の市内巡回バスであるくるりんばすは、鉄道駅や近隣市への移動を確保する地域間幹線系統2路線と、地域内の日常生活を支える地域内フィーダー系統5路線で構成されているが、全ての系統を日進市役所で結節させ、乗換機能の充実を図ることにより、鉄道駅へのアクセスと市街地における生活交通の確保という2つの目的を実現させている。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、移動需要については大きな変化と減退が生じているが、高齢者人口の増加は今後も続く想定されており、同時に移動困難者も増加することが見込まれるため、地域住民の移動手段を将来にわたって確保維持することで、市の目標である「いつまでも暮らしやすいみどりの住環境都市」の実現を図ることを目的に運行を継続する。

◆必要性

日進市のくるりんばすは、市域全体を網羅するように路線を設定することで、市内のどこに住んでいても移動することが出来る環境を整えている。

特に地域内フィーダー系統については、スーパーや個人医院、公共施設などが立地する市街地にアクセスしており、日常生活に必要な移動手段として地域の人々に利用されている。

なお、5路線ある地域内フィーダー系統は全て日進市役所で結節している他、民間路線バスを含む地域間幹線系統とも同所で結節している。

このように地域間幹線系統と地域内フィーダー系統が相互に接続することにより、市内全域への移動を可能としており、通勤、通学、通院、買い物など、様々な移動を支えている。そのため、いずれの路線も欠くことはできない、市民生活を支える上で重要な路線となっている。

今後も社会情勢の変化や市街地の変化に対応しつつ、どこに住んでいても移動することが可能な路線網を継続的に維持していくことで、市民の移動や外出を支えていく必要がある。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

くるりんばすの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響が出る以前(令和2年1月末)までは、日進市の地域内フィーダー系統5路線の利用者数は前年同期比プラス3.9%となる等、堅調に推移しておりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起が始まった令和2年3月に前年同月比約30%減、緊急事態宣言が発令された4月には前年同月比50%以上の減少となりました。

なお、国の緊急事態宣言は5月14日に解除されましたが、くるりんばすの5月の利用者数は前年同月比50%以上の減少となりました。

今後も、新型コロナウイルスを念頭に置いた「新しい生活様式」(テレワークやオンライン授業、通信販売の活用や買い物時のまとめ買い、徒歩、自転車移動など)を実践する動きが、当面の間続く可能性が高いと想定されますが、この影響について試算することは困難であるため、目標値については令和元年度の実績に基づき設定します。

※直近利用者数 (H31.4~R2.3) フィーダー系統5路線 207,618人

- ・令和3年度目標(令和2年10月~令和3年9月・フィーダー系統5路線)利用者数: 208,000人
- ・令和4年度目標(令和3年10月~令和4年9月・フィーダー系統5路線)利用者数: 208,000人
- ・令和5年度目標(令和4年10月~令和5年9月・フィーダー系統5路線)利用者数: 208,000人

(2) 事業の効果

市内巡回バス「くるりんばす」地域内フィーダー系統5路線の維持により、赤池地区、米野木地区、三本木地区、岩崎地区など、市域全体の過半を占めるエリアの通勤、通学、通院、買い物などの生活交通を確保することが出来る。

また、名古屋市営地下鉄鶴舞線及び名古屋鉄道豊田線の各駅に接続することにより、鉄道を使った広域移動や名鉄バス各路線への乗り換えにも対応することが出来るほか、市役所で地域間幹線系統と地域内フィーダー系統が結節しているため、バスを乗り継ぐことにより、市内各所へ移動することが出来る。

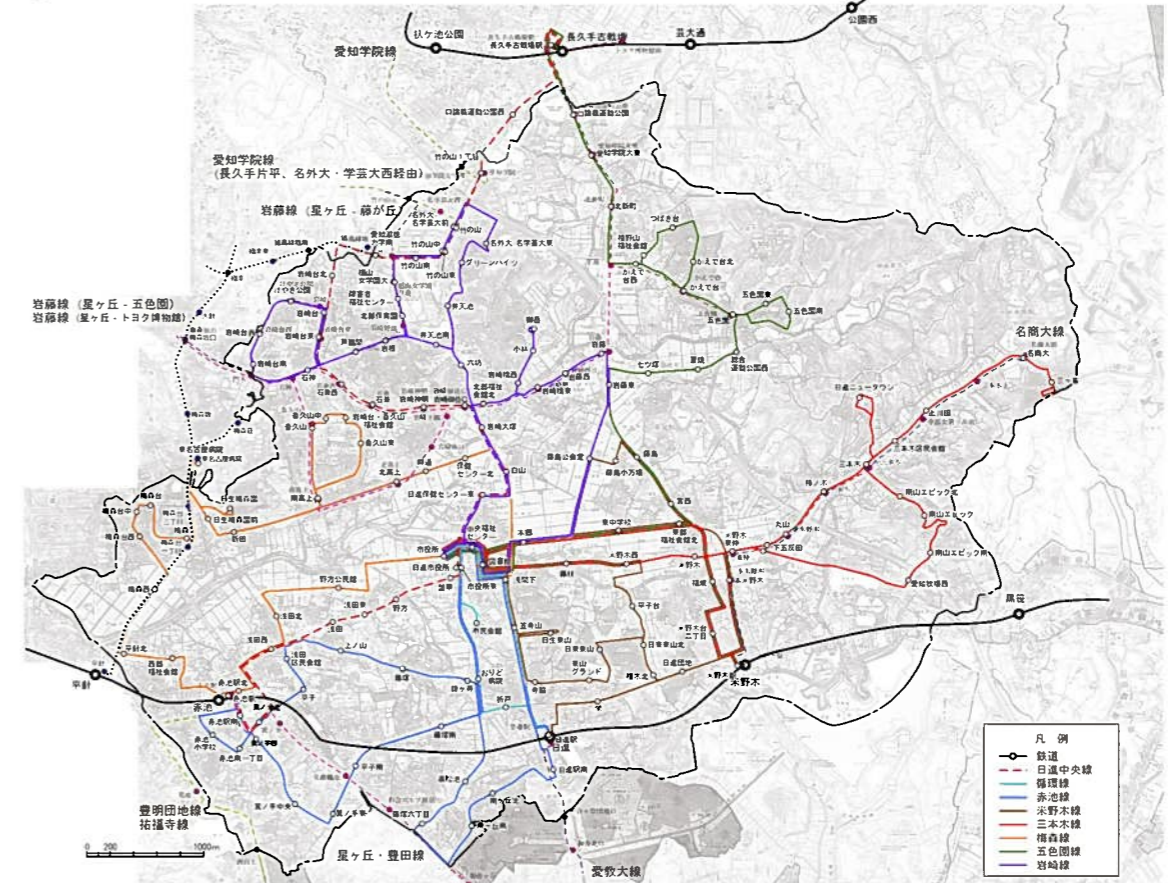
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・市内巡回バス「くるりんばす」の确实・安全な運行(日進市・運行事業者)
- ・新型コロナウイルスの車内感染防止(車内消毒の徹底、換気の徹底、運転手のマスク着用等)(日進市・運行事業者)
- ・バスマップ、観光用バスマップの作成、配布(日進市)
- ・バスロケーションシステムの配信など、情報アクセス性の向上(日進市)
- ・GTFSデータの提供による、経路検索機能の充実(日進市)
- ・バス停にリアルタイムな運行情報を表示するスマートバス停開発のための実証実験の実施(日進市、運行事業者、大学等研究機関)

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

① 路線図



② 予定している運行内容等

路線名	1日運行本数※	始発※	終発※	運行日	使用車両	運行事業者
赤池線	11 (8)	6:40 (8:18)	19:38 (17:05)	毎日 (12/31~ 1/3は運休)	小型バス	名鉄バス
米野木線	11 (8)	6:47 (8:00)	19:25 (16:50)		小型バス	
三本木線	11 (8)	6:50 (8:10)	19:25 (16:50)		小型バス	
梅森線 (幹線系統)	11 (8)	6:50 (8:10)	19:25 (16:50)		小型バス	
五色園線 (幹線系統)	11 (8)	6:30 (8:10)	19:25 (16:50)		中型バス	
岩崎線	11 (8)	6:30 (8:10)	19:25 (16:50)		小型バス	
循環線	21 (21)	7:38 (7:38)	20:00 (20:00)		中型バス	

※()内は土休日

③ 運行事業者の決定経緯

本市及び近隣市町における過去の運行実績に加え、各種サービス(全国共通ICカードの利用、バスロケーションシステムの提供等)の実施が可能かどうかを考慮した他、事故、災害、故障等の緊急時にも迅速な対応が可能なエリアに営業所を有しているかを考慮して市が選定。

④ 運行期間 平成 29 年 4 月 1 日～
④ 地域内フィーダー系統の補足資料（既存交通や地域間交通との関係や整合性） 平成 29 年の再編の際に、地域間幹線系統との役割分担を明確化し、可能な限り地域間幹線路線や既存の民間路線との重複を避けた路線とした。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者 運行経費から運行収入及び国庫補助金（地域公共交通確保維持改善事業費補助金）を差し引いた差額分を日進市が負担する。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称 名鉄バス株式会社
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】 該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】 該当なし
9. 別表 1 の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】 該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】 該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】 該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 5」を添付。
13. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 該当なし（地域間幹線系統くるりんばす梅森線を代替取得予定）

14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 (1) 事業の目標 該当なし（地域間幹線系統くるりんばす梅森線を代替取得予定） (2) 事業の効果 該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 (1) 事業の目標 該当なし (2) 事業の効果 該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】 該当なし
20. 協議会の開催状況と主な議論 別紙の通り

21. 利用者等の意見の反映状況

「日進市地域内フィーダー系統確保維持改善計画（以下、本計画）」は、平成 27 年に策定した「日進市地域公共交通網形成計画（以下、網形成計画）」及び平成 28 年に策定した「日進市地域公共交通再編実施計画（以下、再編実施計画）」を基本に作成している。

網形成計画、再編実施計画の策定時には、住民検討会を複数回開催した他、地域ごとの説明会の実施、市のホームページ、広報を通じたパブリックコメントの実施等、公共交通利用者を含む多くの市民意見を反映しつつ計画を取りまとめ、現行の路線を編成している。

なお、本計画を策定するにあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響等についても考慮しましたが、目標値等については試算が困難であるため、前年度実績値に基づいた記載を行っています。

22. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	愛知県都市整備局交通対策課 愛知県尾張建設事務所 愛知県愛知警察署交通課
関係市区町村	日進市生活安全部防災交通課
交通事業者・交通施設管理者等	公益社団法人愛知県バス協会 名古屋タクシー協会 名鉄バス株式会社 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 名古屋鉄道株式会社 名古屋市交通局
地方運輸局	中部運輸局愛知運輸支局
その他協議会が必要と認める者	名城大学教授、区長会、老人クラブ連合会、子ども会連絡協議会 商工会議所、障害者団体連絡会、地域女性団体連絡協議会、 にしん市民環境ネットの各代表等

※地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に定められた各表については、事務局において内容を調整の上、添付させていただきます。

17. 協議会の開催状況と主な議論

平成27年度

第1回地域公共交通会議（平成27年4月24日（水）9:30～11:30）

- 平成27年度歳入歳出予算について
- 地域公共交通網形成計画（案）パブリックコメント結果について

第2回地域公共交通会議（平成27年8月10日（月）9:30～11:00）

- 平成26年度歳入歳出決算について
- 地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について

第3回地域公共交通会議（平成27年10月28日（月）9:30～11:00）

- 年末特別運行について
- 地域公共交通再編案について

第4回地域公共交通会議（平成28年1月8日（金）9:30～11:30）

- 地域公共交通再編案の修正について
- 中部運輸局における平成26・27年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

第5回地域公共交通会議（平成28年2月19日（金）9:30～11:00）

地域公共交通再編実施計画の策定に関する基礎調査について

第6回地域公共交通会議（平成28年3月31日（木）9:30～11:30）

- くるりんばすの料金体系の改定について
- 平成28年度歳入歳出予算について

平成28年度

第1回地域公共交通会議（平成28年5月20日（金）9:30～11:10）

- 平成27年度歳入歳出決算について
- 地域公共交通調査事業（計画推進事業）について
- 地域公共交通に関する意見

第2回地域公共交通会議（平成28年9月 文書会議）

くるりんばすの料金体系の改定について

第3回地域公共交通会議（平成28年10月24日（月）9:30～11:10）

- 年末特別運行について
- 日進市地域公共交通網形成計画の修正について
- くるりんばす再編に伴う道路運送法上の協議について

第4回地域公共交通会議（平成28年1月11日（水）9:30～11:00）

中部運輸局における平成27・28年度地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価について

第5回地域公共交通会議（平成29年2月24日（金）14:50～16:30）

- 平成29年度生活交通確保維持改善計画について
- 平成29年度地域公共交通再編推進事業について

平成29年度

第1回地域公共交通会議（平成29年5月22日（月）9:30～11:30）

- 平成28年度歳入歳出決算について
- 平成29年度歳入歳出予算について
- 平成30年度生活交通確保維持改善計画について
- 平成29年度地域公共交通再編推進事業について

第2回地域公共交通会議（平成29年9月28日（木）10:10～11:30）

- 平成29年4月～8月の運行実績について
- くるりんばす再編実施に対する意見、要望について
- 平成29年度地域公共交通再編推進事業の進捗について

第3回地域公共交通会議（平成29年11月 文書会議）

くるりんばす箕ノ手北・箕ノ手西バス停の設置について

第4回地域公共交通会議（平成30年1月17日（水）14:00～16:30）

- 平成29年4月以降の運行実績
- 平成29年度地域公共交通再編推進事業の実施結果
- 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価（幹線系統）
- 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価（フィーダー系統・再編計画推進事業）

平成30年度

第1回地域公共交通会議（平成30年5月25日（金）14:15～16:30）

- 平成28年度と平成29年度の運行実績比較
- 平成29年度決算について
- 平成30年度予算について
- 平成31年度生活交通確保維持改善計画について

第2回地域公共交通会議（平成30年10月3日（水）9:30～11:30）

- 平成30年4月以降の運行実績について
- 日進市地域公共交通再編実施計画フォローアップ調査の実施について
- くるりんばすの利用促進事業について

第3回地域公共交通会議（平成31年1月15日（火）14:30～17:00）

- 平成30年4月以降の運行実績
- 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価（幹線系統）
- 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価（フィーダー系統・再編計画推進事業）

令和元年度

第1回地域公共交通会議（令和元年6月6日（木）14:15～16:30）

- 平成30年度と平成28年度・平成29年度の運行実績比較
- 平成30年度歳入歳出決算について
- 令和2年度歳入歳出予算について
- 令和2年度生活交通確保維持改善計画について
- その他

第2回地域公共交通会議（令和元年11月6日（水）9:30～11:30）

- 令和元年度と平成28年度・平成30年度の運行実績比較
- くるりんばすの利用促進事業について
- 災害・イベント時の臨時対応について
- 令和元年度事業費の支出について

第3回地域公共交通会議（令和2年1月21日（火）14:15～17:00）

- 平成31年4月以降の運行実績
- 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価（幹線系統）
- 令和元年度地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価（フィーダー系統・再編計画推進事業）

令和2年度

第1回地域公共交通会議（令和元年6月1日（月）、書面会議）

- 運行実績について
- 新型コロナウイルス感染症に関する定期券の取扱について
- 新型コロナウイルス感染症予防の対策について
- 運転免許証自主返納者に対する支援事業の改正について
- 令和元年度歳入歳出決算について
- 令和2年度歳入歳出予算について